

令和 7 年 7 月 20 日 (日)

[分科会] 9:00~11:00 (120 分) 於：山形テルサ 会議室・研修室／ZOOM

- ・ A 分科会 自分ごととして「避難所運営」を考える。～避難所運営ゲーム (HUG) 実施を通じて
 - 司会者：吉田 幸恵 (北海道建築士会)
 - コメンテーター：金子ゆかり (北海道建築士会)
 - コメンテーター：安谷 潔美 (鳥取県建築士会)
- ・ B 分科会 古民家復権作戦
 - 司会者：大泉みどり (山形県建築士会)
 - コメンテーター：安井 妙子 (阿部和建築文化研究所)
- ・ C 分科会 ちびっこ『ちょこっとプランニング』
 - 司会者：萩原 香 (群馬建築士会)
 - コメンテーター：安藤めぐみ (神奈川県建築士会)
- ・ D 分科会 「介護保険制度における住宅改修の適正化に関する業務」について
 - 司会者：長瀬八州余 (岐阜県建築士会)
 - コメンテーター：下川 滉美 (岐阜県建築士会)
 - コメンテーター：高野 栄子 (岐阜県建築士会)
- ・ E 分科会 建築士の役割を一般の方にわかりやすく伝える／林業木材産業との協働の中で
 - 司会者：畠中 みか (和歌山県建築士会)
 - コメンテーター：須藤 亜紀 (秋田県建築士会)
 - コメンテーター：芦辺 留美 (和歌山県建築士会)
- ・ F 分科会 建築士としての「防災」を今、考える
 - 司会者：渡辺 瞳 (岡山県建築士会)
 - コメンテーター：河原 典子 (神奈川県建築士会)
- ・ G 分科会 伝統と未来をつなぐ古民家再」
 - 司会者：松田まり子 (沖縄県建築士会)
 - コメンテーター：須藤 亜紀 (群馬建築士会)
 - コメンテーター：中野 久美 (群馬建築士会)
 - コメンテーター：近藤 富美 (福岡県建築士会)

= 全体会会場へ移動 11:00~11:15 =

[全体会] 11:15~12:00 (45 分) 於：山形テルサ テルサホール／ZOOM

- ・ 分科会報告 (3 分×7 分科会) 各分科会司会者
- ・ 全体総評 (3 分) 連合会女性副委員長
- ・ 令和 7 年度第 34 回全国女性建築士連絡協議会アピール (3 分) 連合会女性委員長
- ・ 開催県挨拶 山形県建築士会
- ・ 閉会の辞

[エクスカーション] 12:30~

令和 7 年度 第 34 回全国女性建築士連絡協議会（山形）分科会概要一覧

分科会名称	コメンテーター	概 要
A 分科会 自分ごととして「避難所運営」を考える。 ～避難所運営ゲーム（HUG）実施を通じて	金子 ゆかり (北海道建築士会) 安谷 潔美 (鳥取県建築士会)	<p>チームくしろ防災女子の活動（釧路市で女性目線での防災対策に取り組む市民団体）を通じて 避難所での女性がおかれた環境を伝えるとともに避難所の在り方などをお話ししていただきます。</p> <p>鳥取県：令和 6 年度「防災功労者防災担当大臣受賞」平成 20 年より継続している一般市民への防災思想の普及鳥取県建築士会女性委員会は、平成 12 年の鳥取県西部地震・平成 28 年の鳥取県中部地震の被災経験を活かし、平成 20 年より継続して地域に出向き、避難所運営ゲーム（HUG）や災害図上訓練（DIG）のワークショップを通じて、幅広い世代・住民を対象に防災知識の普及啓発に取り組んでいる。ワークショップは、時事問題を取り入れたり、動画・効果音・実際の学校図面を用いたりする等の身近に災害をイメージできるよう工夫されており、地域住民の防災思想の普及に大きく貢献している。</p> <p>金子さんからは活動内容を発表していただき 安谷さんからは避難所運営ゲーム（HUG）のワークショップを行いながら 防災意識・避難所運営の課題について考える時間とする。両者が行う地域で避難所運営の差や重きを置くポイントなども学んでいきます。</p>
B 分科会 古民家復権作戦	安井 妙子 (阿部和建築文化研究所主幹研究員) 元宮城県建築士会 女性部会長	<p>30 年前から高断熱高気密構造補強を施した古民家 30 数棟の設計監理をして作品は雑誌や TV で紹介され、日本建築学会東北支部にて顕彰もされました。うち 6 件が登録文化財になり、次世代に引き継がれています。2000 年に寒くない古民家集『古民家復権』を、『修理工事報告書』は現在までに 16 冊出版し、大学 2 力所で教育にも携わりました。</p> <p>近年、宮城県建築士会女性部会とのコラボで、ZOOM にて年間 4 回「語ろう学ぼう木の建築講座」を配信しており、2025 年 4 月で 13 回目を数え、これからも継続いたします。</p> <p>当分科会では、古民家の品格を損なう事なく、美しさを復権する「寒くない古民家修復」をご理解のうえ、一人でも多くの方に取り組んでいただきたく、惜しみなく断熱気密手法を開示します。文化財登録までの多事多難も丸っと伝えます。</p>

C分科会 ちびっこ『ちょこっとプランニング』	安藤 めぐみ (神奈川県建築士会)	<p>「はまっこスクール」の職業体験としてスタートした「ちょこっとプランニング」は、関東甲信越ブロックでも関心が高く、他県でもアレンジした企画で実施されています。</p> <p>令和6年度は、横浜市役所内で開催された「よこはま建築ひろば」において、小学4年生から中学生を対象に開催しました。</p> <p>外壁ラインを設定した図面に、誰とどのように住むのか想像しながら家具をレイアウトし、間仕切りや扉を記入していく手法をとっています。家具などは、シールを利用することで、何度も検討を重ね変更しながら仕上げていきます。ある程度並べることでスケール感のある見栄えの良い図面が完成される住宅の設計体験です。</p> <p>リアルな体験から建築を学ぶ機会になっています。</p>
D分科会 「介護保険制度における住宅改修の適正化に関する業務」について	下川 滉美 (岐阜県建築士会) 高野 栄子 (岐阜県建築士会)	<p>岐阜県ではまちづくり委員会の福祉まちづくり部会が中心になり、「福まち建築士」という制度があります。その「福まち建築士」が5年前から自治体からの業務委託を受けて活動している「介護保険制度における住宅改修の適正化に関する業務」についてお話しします。</p> <p>住宅改修を申請する際に確認用に作成したチェックリストについて制作した理由、その過程、運用状況や問題点などがわかつてきました。</p> <p>介護保険による住宅改修は小規模で出来る内容が限られているので、工事内容は限定されます。</p> <p>そこで同じ様な内容の工事に当たる一般的な内容で各種チェックリストを作成し、申請者に事前確認して頂く仕組みを整え、今年度から運用しております。介護保険の趣旨と保険を適用する住宅改修の内容、いろいろな事例について積み重ねてきたデーターを元に活動内容をお話しします。また介護保険における住宅改修はその地域の慣習や利用者の身体状況、住宅の状況により異なる「保険者判断」という特徴もあります。クイズ形式で各地域から集まっているみなさんの「保険者判断」について情報交換したいと思います。</p>
E分科会 建築士の役割を一般の方にわかりやすく伝え る／林業木材産業との協働の中で	須藤 亜紀 (秋田県建築士会) 芦辺 留美 (和歌山県建築士会)	<p>建築士という資格についての知名度は高い一方で、実際の仕事(社会の中での役割)についての認知度は低いと感じる方も多いのでは無いでしょうか?でも建築士の仕事をわかりやすく説明するのは難しく、難しいながらも理解してもらう事は、建築という社会への影響が大きい行為に対する理解を深める事にも繋がる大事な事であると思います。</p>

		<p>そこで秋田市の金足農業高校にて行われた出前講座で「建築士の仕事」についてお話をされた経験のある須藤様と、木工製品を利用して木育活動をしている和歌山県建築士会女性委員会に活動報告をして頂き、建築士の基本的な役割を説明するポイントや方法について考えたいと思います。また普段から活動にご協力頂いている林業木材産業の方からも、木育活動等についてお話頂く予定です。木育活動で利用している木工製品の組み立ても交えながら、皆でアイデアを出し合える楽しく有意義な分科会にしたいと思います。</p>
F分科会 建築士としての「防災」を今、考える	河原 典子 (神奈川県建築士会)	<p>令和元年東日本台風（台風 19 号）時、自宅が床上浸水の被害に遭いながら、近隣被災住宅複数件の復旧・重建支援に奔走。その後、神奈川県建築士会防災・災害対策委員会として、防災減災、災害対応に取り組んでいる現副委員長の河原典子氏より、「防災減災」がより自分ごとになるポイントを紹介いただきながら、令和 6 年 11 月に実施された「ハテナからはじまる・みんなの防災ワークショップ【建築士として、災害対応を考える】」の導入と一部のワークを共に体験します。</p> <p>昨今は、地震や水害など様々な災害が頻発し、災害対策は待ったなしの状況です。「あの時こうしておけばよかった」と言わずに済むように、建築士に求められる社会的役割、建築主の不安や地域の災害リスク状況に応えられる建築士とは？その意識や、今、すべき備えについて、分科会参加者と模索し、考えます。</p>
G分科会 「伝統と未来をつなぐ古民家再生」	A：中野 久美 (群馬建築士会) B：近藤 富美 (福岡県建築士会)	<p>A：日本の古民家は地域に合った暮らしの知恵や、歴史を語る事ができる建物ですが、現在の暮らし方や維持管理等の諸問題により、解体されるケースも少なくありません。</p> <p>実際に古民家を購入・再生し、これから古民家を再生させる方の参考や相談、またその意義や地域性について再考する場としたいと考えています。</p> <p>B：福岡県うきは市に、古民家体験型ショールームも併設された”一級建築士事務所やどり木”があります。古民家をコンバージョンやリノベーションしながら、古民家の持つ新たな魅力を引き出す取組みを行なっています。</p> <p>またその他、古民家をホテルにコンバージョンした実例では、法律も含めて古民家活用時の設計手法をご紹介いただきます。</p>

エクスカーションのご案内

2025年7月20日(日)

A 文翔館とコバル見学コース

CPD単位 2
参加費5,500円 定員30名

スケジュール

- 12:30 山形テルサ発
12:45 紅の蔵 そば処 三百坊【滞在時間1時間30分】
14:20 文翔館【滞在時間1時間15分】
15:50 児童遊戯施設コバル【滞在時間1時間】
17:10 JR 山形駅(西口)着



シェルター
インクルーシブ
プレイスコバル
／第34回村野藤吾賞
2023年日本建築
学会賞(作品)
第64回BCS賞
他多数受賞

国指定重要文化財 文翔館



紅花商人だった長谷川家所有の蔵屋敷「紅の蔵」で昼食、敷地内のおみやげ処や地域直売所を堪能いただきます。その後、大正ロマンたっぷりの文翔館へ。1984年に国の重要文化財に指定され、1986年から10年の歳月をかけて当時の工法を元に忠実に復元が行われました。「るろうに剣心」や「賭けグレイ」のロケ地にもなっています。

バス移動し、大西麻貴+百田有希／oh設計のシェルターインクルーシブプレイスコバル(山形市南部児童遊戯施設)へ。「インクルーシブ施設」の解説を交えての見学です。
明治、大正、令和の建物をお楽しみ下さい。

B 羽州街道をめぐる上山コース

CPD単位 2
参加費6,000円 定員30名

スケジュール

- 12:30 山形テルサ発
13:10 檜下宿 丹野こんにゃく【滞在時間1時間30分】
14:45 檜下宿見学【滞在時間2時間】
17:20 JR 山形駅(西口)着



檜下宿 大黒屋

こんにゃく懐石



江戸時代、参勤交代の宿場として栄えた羽州街道 檜下宿。地域住民により、当時の町並みが大切に保存されています。貴重な茅葺屋根の保存や、宿場にふさわしい景観づくりなど、檜下宿にこだわった活動を「檜下宿保存会」のガイドで散策します。
昼食は、こんにゃく懐石をご用意しました。全部食べても低カロリー！
これもこんにゃく？と驚いてください♪

C 慈恩寺散策と道の駅 寒河江コース

CPD単位 3
参加費6,000円 定員30名

スケジュール

- 12:30 山形テルサ発
13:10 道の駅 寒河江 チェリーランド【滞在時間1時間】
クラッピンさがえ見学【滞在時間30分】
15:00 慈恩寺散策【滞在時間90分】
慈恩寺テラス見学【滞在時間30分】
18:00 JR 山形駅(西口)着



さくらんぼ
こどもキャンバス
CLAAPIN
SAGAE
(クラッピンさがえ)

慈恩寺本堂



道の駅 寒河江 チェリーランドにて山形の郷土料理「芋煮御前」をお召し上がりいただいた後、2024年にオープンした株式会社 羽田設計事務所+株式会社 NIZEKI STUDIO 設計のさくらんぼこどもキャンバス CLAAPIN SAGAE(クラッピンさがえ)をご覧いただきます。

慈恩寺では、本堂周辺をガイド付きで散策します。再建から400年といわれる国指定重要文化財の本堂は、約70年ぶりの茅葺屋根の全面葺き替え等の修理工事を完了しました。工事完了を記念し11年ぶりに御本尊を御開帳いたします。生まれ変わった美しい姿をご覧ください。

国史跡慈恩寺パンフレットはごちらから→



D 「将棋の書き駒・紅花染め体験」と「天童木工本社ショールーム見学」コース

CPD単位 2
参加費8,000円 定員40名

スケジュール

- 12:30 山形テルサ発 バス移動【所要時間 60分】
 昼食 山形まるごと弁当
 13:30 天童市ターミナルビル「パルテ」
 「将棋の書き駒体験」または「紅花染め体験」【体験時間 90分】
 15:30 天童木工 「ショールーム見学」【所要時間 90分】
 17:30 JR 山形駅（西口）着



将棋の駒にオリジナルの文字を描く書き駒と、天然染料を使ったスカーフの紅花染めのワークショップを開催(どちらか一つを選択)。地元で活躍する女性クリエーターを講師に迎え、山形の伝統文化を体験します。その後、世界的な家具メーカー「天童木工」にて、歴史やデザイン、最新技術についてお話を伺い名高い家具から素材の見本まで一堂に揃った本社ショールームを見学します。※昼食は、つや姫ご飯に山形牛、在来野菜の里芋などを使った地産地消のお弁当です。



E 本館 古勢起屋(登録有形文化財)見学と銀山温泉宿泊コース

CPD単位 2
参加費4,000円(宿泊費は下記参照) 定員46名

スケジュール

- 12:20 山形テルサ発
 (他コースより早い出発になります)
 車窓から 七日町御殿壁面、文翔館 等
 13:00 昼食 白鳥十郎庵(本舗)(河北町)
 冷たい肉蕎麦+餅1個
 (きなこ小豆餡の納豆)
 秘密のケンシショーテミで紹介された
 B級グルメをご堪能ください
 13:45 移動
 15:00 銀山温泉入り口到着、チェックイン
 自由時間
 本館古勢起屋館内見学
 温泉街銀坑道散策等 (QRコード参照)
 18:00 夕食
 7/21(月)
 10:00 チェックアウト

◆本館古勢起屋(定員1室2名、14室28名限定)※全館禁煙

令和5年8月に登録有形文化財に指定された当館をお楽しみ下さい。

・川側客室(大正モダン客室6室・和室2室)

2名様1室ご利用 お一人様@39,750円

Eコース申し込み

・山側客室(大正モダン客室6室)

2名様1室ご利用 お一人様@37,550円

QRコード→

(5月30日午前中〆切厳守)



◆銀山荘

※銀山荘は4階に喫煙スペースがあります

・ベッドルーム定員2名3室 2名様1室ご利用(半露天風呂付)

お一人様@38,650円

・和室(10帖) 定員6名2室 6名様1室ご利用 お一人様@25,450円

○いずれの価格も消費税と入湯税込です。宿泊費は各自現地でお支払いください。
 お部屋の希望を取りますが、申し込み多数の場合は抽選とさせていただきますので、
 ご希望に添えない場合はご了承下さい。なお同室希望の方がいれば備考にお書き下さい。

○チェックアウト(10:00)後は、JR山形新幹線大石田駅まで時間指定(10:30と12:30の2本のみ)の無料送迎バスがありますが、それ以外は市営バス¥1,000となりますのでご注意下さい。

*Eコース申込の方は、必ず右上のQRコードから質問にご回答ください。

銀山温泉ウォーキングコース
所要時間 90分 中級コース

撮影/建築カメラマン長岡信也

本館古勢起屋HPより

ご注意とお願い

- * 各コース共、山形テルサ正面玄関からの出発となります。
- * 参加ご希望の方は、全建女参加申込書の「エクスカーション」欄に希望のコースを第2希望までご記入ください。
- * 参加費は事前振り込みとなります。コース決定後、お振込みの案内をいたします。お振込みいただいた参加費は、返金いたしかねますのでご了承ください。
- * 動きやすい服装、靴に於て参加をお願いします。また、帽子等の暑さ、日差し対策をよろしくお願ひいたします。
- * エクスカーション参加者のお荷物は、山形テルサにエクスカーション終了までお預かりも可能です。ただし、貴重品は各自お持ちください。
- * 道路混雑状況により帰着場所への到着が遅れる場合があります。
- * 介助が必要な方、幼児同伴の方は、申込書備考欄に記載お願いします。コースによっては参加が難しいものもありますので、後日ご相談させていただく場合があります。
- * 申し込みの締切は5月30日午前中となります。